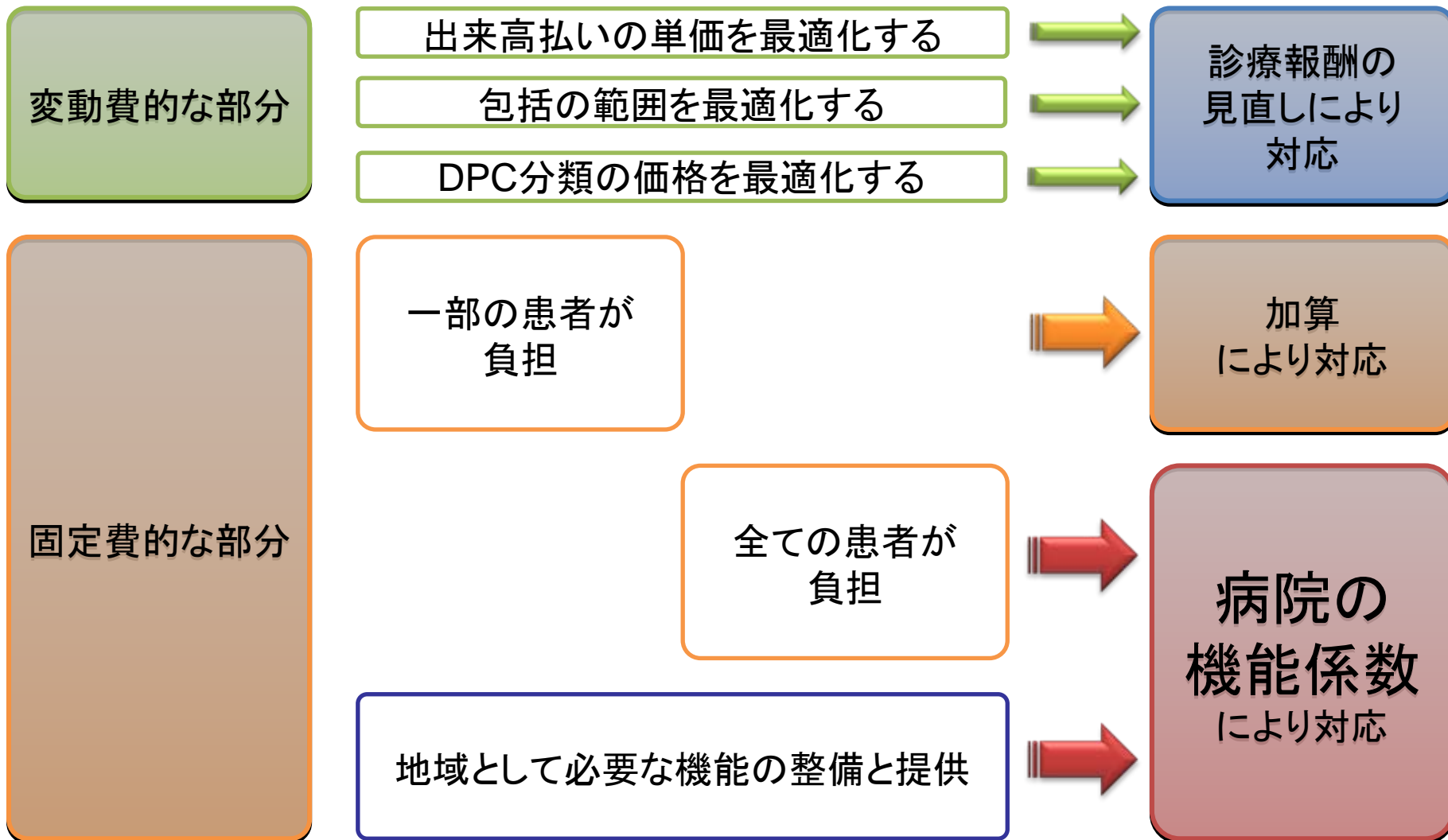


# 病院機能係数の考え方について②

「包括払い方式が医療経済及び医療提供  
体制に及ぼす影響に関する研究」班  
(H19-政策-指定-001)

# 支払いを最適化するための方策(案)



# 機能評価係数検討の具体的作業

## データの集計

- 具体的な指標・項目を定めて集計を行う
- データの品質(特に診療情報)を確認する

## ばらつきの分析

- 指標ごとの「ばらつき」を分析する
- 指標間(特に施設の外的基準など)の関連性について分析する

## 評価方法の検討

- 適切な対応方法を選択する
  - 診療報酬の見直し
  - 機能係数、加算、その他の方法による評価

コストをどう反映するのか？ベースとなる財務諸表の精度向上が鍵

# 現在研究班で検討している項目の例

## プロセス

- プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法
- 診療プロセスの「妥当性」の評価
- 包括範囲についての検証：化学療法、高額処置・材料など

## ケースミックス と パフォーマンス

- 複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」
- 効率よい診療を評価する「効率性指標」
- 稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」
- 重症患者への対応状況：副傷病スコア（Charlsonスコア）

## ストラクチャー (構造)

- 施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査
- 望ましい5基準の状況：救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理…
- 診療情報の質の評価：EFファイルの適切性、ICD10コーディング…

## 地域での役割 (貢献度)

- 患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術…
- 4疾病・5事業への対応状況